

## 報告書抄録

ふりがな	きたおひがし いせき							
書名	北尾東遺跡							
シリーズ名	一般国道1号栗東水口道路1 栗東インターチェンジ計画に伴う発掘調査報告書							
シリーズ番号	1							
編著者名	北村圭弘							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号				
発行年月日	平成19年(2007年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査面積 (㎡)	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
きたおひがし いせき 北尾東遺跡	りつとうし 栗東市  おの 小野・  ろくじぞう 六地蔵	208	71	35度 07分 01秒	136度 01分 14秒	1,300	2005.6.23 ～ 2005.10.7	一般国道1号 線栗東水口道 路1 栗東イン ターチェンジ 計画
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
北尾東遺跡	—	縄文時代後期		—		縄文土器(北白川上層式)、石鏃、剥片		
	—	飛鳥時代		—		須恵器		
	集落	奈良時代末～ 平安時代前期		竪穴住居・土坑 ・遺物包含層		土師器・須恵器・鉄 刀子・鉄釘		
要約	<p>縄文時代後期および飛鳥時代の遺物が少量出土したものの、奈良時代末期～平安時代前期の遺物量が圧倒的に多い。検出した竪穴住居1棟や、壁面が明確に火を受けた土坑1基、埋土に焼土や木炭を含む土坑3基などもすべて奈良時代末期～平安時代前期の所産である。須恵器の食器類が多く出土していることから、ここが生活の場であったことは確実で、鉄刀子といった注目すべき遺物も出土している。当該期頃、当地の丘陵の山林中に生産に携わる人あるいは山林修業者等が住んでいた可能性がある。</p>							